

修道館剣道再開ガイドライン

公益財団法人大阪武道振興協会

新型コロナウイルス感染拡大のため、中断しておりました稽古を再開するにあたり修道館として次のようなガイドラインを定め、稽古を再開します。

各練習生は、新型コロナウイルスの感染が自分一人だけでなく、家族、友人、地域の社会生活全般に迷惑を及ぼし、時には死に至るほどの影響のあることを強く認識して、このガイドラインを遵守して稽古を再開してください。

剣道部

1 基本的姿勢・態度・認識

◎大阪市及び管理者であるシンコースポーツ（株）並びに全日本剣道連盟、大阪府剣道連盟の指導方針に従う。なお、今後の全剣連・大剣連の発表（ホームページなど）を注視すること。

2 入館に当たっての注意事項

◎入館者は、マスクを着装し、入館時に氏名、電話番号、入館時の体温（入館時に測定する）等を記入した体調確認票を提出すると共に、アルコールにより手の消毒を行う。

◎体調管理は、各自十分気を付けて自己管理すると共に、水分補給、稽古時間など、自己に合った状態で実施する。基礎疾患、体調不良（熱、せき、倦怠感）が認められた場合は厳に稽古を慎む。

◎利用者は、私語を慎み、準備、後片付け、退館等は迅速に行う。

◎稽古時間は、次のとおりとし、一般の部の入館は18:00からとする。

少年の部 17:00～18:00 まで、

一般の部 18:30～19:30 まで

◎少年部員は、靴等を各自袋に入れて、館内に持って入り、自己の衣服と共に保管しておき、退館は、東西出入り口から退出するものとする。

◎少年部の見学は、原則として許可しない。

◎少年部員は、水筒等を道場内に持ち込み、道場内での水分補給を可とする。

（裏面に続く）

3 稽古上の注意事項

- ① 道場は、窓を開放すると共に、扇風機を使用し、換気に努める。
- ② 更衣は、原則として、稽古前は更衣室で、稽古後は混雑を避けるため、女子は更衣室で男子は道場内で行う。
- ③ 防具、稽古着は原則持ち帰る。(小手、面は消毒する。) ロッカーを使用する者は、防具を収納しても良いが稽古着袴は、持ち帰ること。
- ④ 当面の間、マスク及びマウスシールドの装着は、必須条件とする。
(マウスシールドを所持していない者で希望者は、玄関受付で購入することができる。)
 - ・マスクは、自己の飛沫が相手にうつるのを予防し、マウスシールド(フェイスガード)は、相手の飛沫が自己にかかるのを防ぐ意味のあることを認識して、使用する。
 - ・マスクについては、呼吸困難も予想されるため現在も研究中であり、その形態については、なお若干の変遷が予想されるが、装着は必須条件とされているため、各自独自のマスクを工夫・考案して、自己に適したものを装着するものとする。
特に熱中症には各自、充分注意し、少しでも異変を感じた場合、休憩などをとり、(少年部にあつては、先生に申し出て)稽古を中断すること。
指導者は稽古を始めるにあたって、練習生に上記のことを徹底しておくこと。
- ⑤ 稽古は、前半を基本稽古とし、後半を自由稽古とする。
- ⑥ 元立ちは、1.5メートルから2メートルの間隔をとるなど位置取りに注意する。
- ⑦ つばぜり合いは、厳禁とし、すぐ解消につとめる。
- ⑧ 発声は、極力慎み、床には手をつかないように注意する。
- ⑨ 稽古時間は極力、短くし、4分以内とする。
- ⑩ 師範への順番待ちの人数は4人までとする。(待機場所を広げる。)
- ⑪ 稽古開始前と終了後の礼は、整列したままの立礼を基本とする。
- ⑫ 稽古終了後の師範への礼は省略する。
- ⑬ シャワーは禁止のため、各自濡れタオル若しくはウエットティッシュなどを持参のうえ、稽古後は体をふき、清潔な状態を保つ。